

平成7年度 1学期終業式式辞

みなさん、今日で1学期が終わります。入学式に始まり、授業、部活動、そして北高祭に高校総体と、この1学期も本当にあっという間でした。

各部、各クラスが力を合わせてつくり上げた北高祭。本気で取り組む姿は、まさに「尼北の結束力」を示すものであり、その完成度は高いものであったと思います。

さらに、北高祭終了後も、大人形とアーチの解体にあたってくれた2年1組、2組のみなさん、本当にありがとうございました。

疲れているのも関わらず、自分の役割を最後まで果たそうとするその姿勢に、“誠実さ” 見たように思います。

また、県総体での選手の姿も忘れられません。

シュートが決まった瞬間、また、外した瞬間。その直後に見せる、ほんの小さなガッツポーズ、あるいは静かに目を閉じるような悔しそうな表情。行動心理学でいう「**マイクロエクスプレッション**」と呼ばれるもので、これは、意識的に制御できない動き、つまり、無意識の行動のことです。

本気で向き合ってきた人だけが持つ“心の声” のようなものです。

この様な場面に立ち会えると、心動かされます。

一方で、社会に目を向けると、こんな無意識な行動もあります。

「**認知的視野狭窄**」と呼ばれるもので、相手の気持ちを考えずに、自分の感情や主張を優先して発信してしまうといったことがこれにあたります。

特にSNSという場は、相手が見えないだけに、時に視野の狭さを加速させてしまいます。

だからこそ、必要なのは、「本当の意味での誠実さ」です。自分の思いを伝える時こそ、相手の気持ちに思いを巡らせる。それは、誰にも見えないところでこそ問われる人としての強さであり、深さだと思います。

きっと皆さんの心の奥底に宿っていると信じています。

それでは、よい夏休みをお過ごし下さい。